

## 平成24年度習志野市史編さん委員会会議録

日 時 平成24年11月15日(木) 午後3時～午後4時

場 所 教育委員会1階大会議室

出席者

【市史編さん委員会委員】

相澤委員長・井上委員・小倉委員・渡邊委員・諏訪委員・白川委員

【習志野市教育委員会(事務局)】

早瀬生涯学習部長・市川生涯学習部次長・及川生涯学習部副技監

上野社会教育課長・白鳥文化財係長・松浦副主査・金谷主事

(欠席者) 委員：上山委員、教育委員会：猪股生涯学習部主幹

傍聴者数 0名

会議次第・内容

— 開会 —

(1) 職員紹介

(2) 部長挨拶

(3) 委員長挨拶

(4) 会議録署名人選出

委員名簿の順に従い、相澤委員長と井上委員が会議録署名人に選出された。

(5) 報告事項

① 市史刊行物の販売状況

事務局 『習志野市史』等の市史刊行物の販売状況について報告。

・現在、社会福祉法人 習志野市社会福祉協議会に委託し、市役所本庁舎市民課棟の売店で販売している市史刊行物は、習志野市史5種類、史料所在目録2種類、市史研究、『新版 習志野—その今と昔』の計9種類である。

委員 市史刊行物は広報等で宣伝しているのか。

事務局 ここしばらくは行っていない。機会を見て行いたいと思っている。

委員長 そのことについては検討していただきたい。

② 市史調査

ア 市史関係資料の収集・調査

a 文献資料の収集・調査

**事務局** 習志野市の歴史に関わる文献資料の収集・調査について報告。

- ・習志野市の歴史に関わる文献資料を継続的に収集している。  
伊藤音次郎・阪東妻三郎関係の資料等
- ・原本・複写以外にデジタルデータでの収集を行った。

**委員** 収集した習志野市史関連文献資料は、図書館で閲覧できるのか。

**事務局** 収集した資料は市史編さん室で保管している。閲覧については申請があれば、資料の保存、著作権等を考慮して、個別の資料ごとに判断する。

b 写真資料の収集・調査

**事務局** 習志野市の歴史に関わる写真資料の収集・調査について報告。

- ・写真帳、絵葉書類を収集した。

### ③ 市史関係資料の保存と活用

ア 史資料の整理・保存

a 史資料の整理・保存

**事務局** 市史編さん室保管の文書・写真類の整理について報告。

- ・主に文書類を撮影したマイクロフィルムについて作業中。  
庁舎移転に伴う市史編さん室の運用について報告。
- ・今年9月の市庁舎移転に伴い、社会教育課は旧クレストホテルの仮庁舎に移転したが、資料類の保存条件を考慮して、市史編さん室は移転せず従来どおり第四分室に残すこととなった。市史編さん室の温湿度管理などについては、これまで以上にきめ細かい対応を行っていく。

イ 史資料の活用

a 市ホームページの更新

**事務局** 市ホームページ内の各コンテンツの更新について報告。

- ・「第一次世界大戦と習志野―大正8年の青きドナウ―」  
市ホームページ全体のシステム更新に伴い発生したリンク切れや自動翻訳機能導入に対応した改善を行った。
- ・「習志野の歴史と年表」  
大幅に修正及び増補を行った。

b 第7回千葉県北西部地区文化財発表会・巡回展

**事務局** 千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会が開催した文化財の発表会・展示会について報告。

- ・今回は「ムラから村へー掘りおこす土地の歴史ー」というテーマで、主に古墳時代から平安時代、古代の集落を中心に様々なムラの成り立ちを紹介した。本市は「縄文時代前期のムラー習志野市実籾3丁目遺跡(11)ー」と題し、一昨年度調査された実籾3丁目遺跡(11)について展示及び発表を行った。
- ・巡回展は船橋市飛ノ台史跡公園博物館・市立市川歴史博物館・流山市立博物館の3か所で開催され、発表会は平成24年1月29日(日)に市川市映像文化センターで開催された。
- ・巡回展には合計6,000人近い来場者があり、発表会には350人の参加者があった。

c 所蔵資料の利用依頼に対する許可

**事務局** 習志野市教育委員会で所蔵している資料の利用依頼に対する許可について報告。

ウ その他普及活動

**事務局** 歴史に関する各種講座への講師派遣等について報告。

- ・まちづくり出前講座や習志野市民カレッジに講師を派遣した。
- ・今後の予定として、菊田公民館の「ならしの歴史ろまん探訪」、市民プラザ大久保の「考古遺物展示会」に講師を派遣する。
- ・市民、団体、他の自治体などからの歴史に関する問い合わせに対して適宜回答した。

④ その他

ア 文化財関係の報告

a 旧大沢家住宅と旧鴫田家住宅について

**事務局** 旧大沢家住宅と旧鴫田家住宅の来場者数について報告。

- ・近年の傾向では、旧大沢家住宅の来場者の約7割が市内の方であり、約半数の方がリピーターである。
- ・旧鴫田家住宅は、東日本大震災で大きな被害を受け、現在建物については閉館中であり、庭の一部のみ開放しているため、来場者数が少なくなっている。来場者の傾向は市内の方が約半数、リピーターも約半数である。旧大沢家住宅と

比較すると市外からの来館者が多く、他市からも大変注目されていることがわかる。

- ・今年度は応急補強工事を実施し、それに伴って庭の開放範囲も拡大したいと考えている。

b 谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査について

**事務局** 『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』及び『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』並びに『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』の作成作業について報告。

- ・現在、発掘調査の記録類や出土遺物を整理して、報告書を作成する作業が進められている。教育委員会はこの作業の指導にあたっている。
- ・報告書のⅠはすでに刊行済みであり、現在はⅡ・Ⅲ・Ⅳの作業が進められている。

— 閉会 —

以上